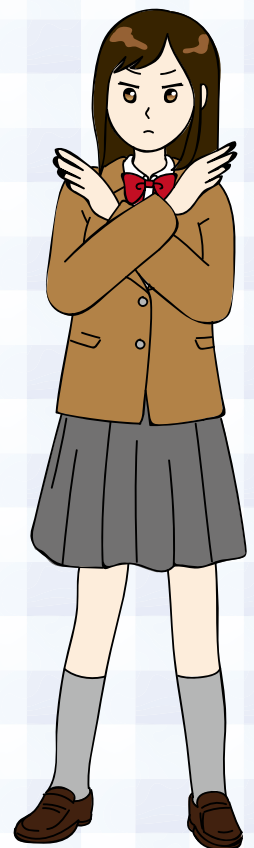


健康な未来を 決めるのは誰？

～たばこの“**恐ろしさ**”を知りましょう～

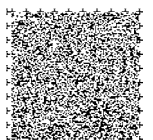
《高校生版》



令和2年度未成年者喫煙防止ポスターコンクール
最優秀賞(高校生の部) 都立白鷗高等学校 栗田 さくらさん

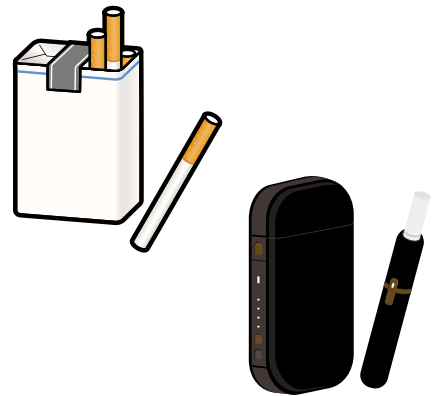


東京都福祉保健局



▶ たばこってどんなもの？

- ▶ たばこの煙には、約 7,000 種類の化学物質が含まれ、そのうち約 200 種類は体に害がある悪い成分です。また、70 種類以上の「がんになる物質（発がん性物質）」も含まれています。
- ▶ 加熱式たばこも、タバコの葉やその加工品を電気で加熱し、発生させた煙を吸入するたばこ製品であり、ニコチンをはじめ、多くの有害物質が含まれます。
- ▶ たばこに含まれる代表的な有害物質として、ニコチン、タール、活性酸素、一酸化炭素があります。



ニコチン

依存性のある有害物質です。血管を収縮させ、血液の流れを悪くします。

タール

ヤニの成分。発がん性物質を含んでおり、がんを発生しやすくします。

活性酸素

全身の細胞に付着し、細胞を老化させたり、傷つけたりします。

一酸化炭素

全身の細胞に酸素が運ばれるのを邪魔して、意識がもうろうとしたりします。

▶ 一度吸うと止められないたばこ、「なぜ？」

- ▶ たばこは、一度吸い始めると止められなくなります。これは、たばこに含まれるニコチンに、麻薬と同じような依存性があるからです。
- ▶ たばこを吸うと、ニコチンが肺から数秒で脳に届き、「気持ちいい」と感じることがあります。繰り返し吸っているうちに常にニコチンを欲しがるようになってしまいます。
- ▶ だから、たばこを吸う人の 40% が、たばこを止めたいのに止められなくなるのです。この「止められなくなる」という依存性が、たばこの怖さのひとつです。

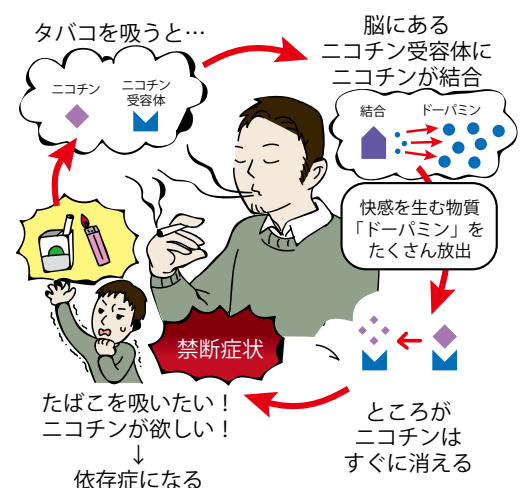
たばこは、違法薬物と同じように依存性が高い！！

依存性スコア

依存性スコアが高いほど、依存性が高いことを示します。



参考：日本禁煙学会「タバコは薬物である」より作成



参考：日本医師会作成「禁煙は愛」

▶ たばこを吸ったら、からだはどんな影響を受けるの？

▶ がんや、様々な病気のリスクが高まる

たばこを吸うと、肺がんをはじめとする全身のがんになるリスクが高くなります。胃がん、食道がん、喉頭がん、失明や白内障、歯周炎なども、喫煙が原因となる病気です。また、COPD（※1）、脳卒中（※2）、^{きょけつせいしんしつかん}虚血性心疾患（※3）といった病気になるリスクも高くなります。

▶ 集中力・持久力が低下

たばこを吸った後は、脳が酸素欠乏状態になり、思考力や集中力が落ちてしまうため、勉強に影響を及ぼす場合があります。また、筋肉も酸素不足になるため、持久力が落ちて運動やスポーツにも悪影響を及ぼします。

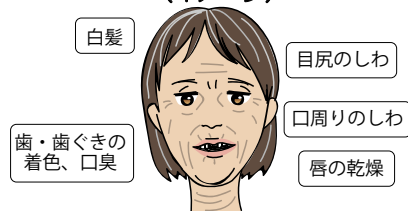
▶ 肌が劣化

活性酸素が、肌の細胞を酸化・老化させてしまうほか、老化を防止するビタミンCも破壊します。たばこ1本につき、レモン半個分のビタミンCが失われます。血行も悪くなり、肌のハリ・ツヤがなくなったり、シワやシミができやすくなったりします。

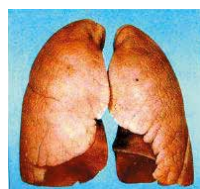
▶ 口臭がきつくなる

たばこを吸うと、歯肉（歯ぐき）の血流が悪くなり、歯周病の原因となります。また、ヤニで歯も黒ずんでしまいます。

たばこを吸い続けた人の顔
（イメージ）



たばこを吸い続けると顔にも様々な影響が出ます。



たばこを吸ってない人の肺



たばこを吸っている人の肺

平間敬文「子供達にたばこの真実を」より抜粋

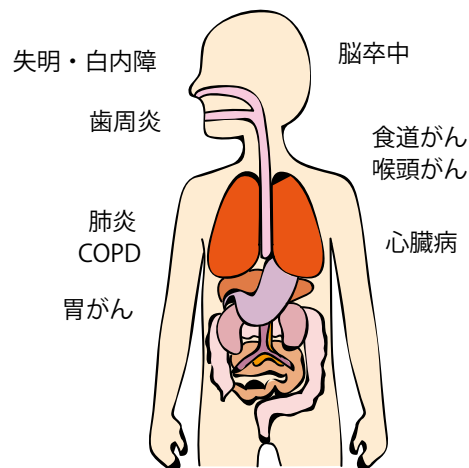


健康な人の歯



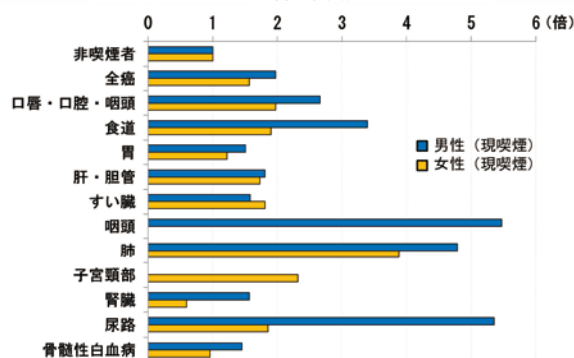
たばこを吸い続けた人の歯

写真提供：福岡歯科大学 埴岡 隆先生



喫煙の原因とする主な病気
米国公衆衛生総監報告書 2010 より抜粋

非喫煙者を1とした場合の喫煙による臓器別癌発生リスク



Katanoda K. et al: J Epidemiol 18: 251-264, 2008.

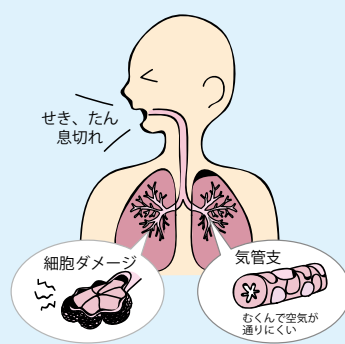
日本肺癌学会「喫煙問題に関するスライド集」より抜粋

※1 COPD（シーオーピーディー）って何？

COPD は^{まんせいへいそくせいはいしつかん}慢性閉塞性肺疾患のことで、たばこの煙などの有害な空気を吸い込むことで、肺や気道に障害が生じ、空気の出し入れがうまくいなくなる病気です。痰を伴う咳や息切れが何年も続き、重症の場合には、通常の呼吸ができず、酸素ボンベなどが必要な生活になります。

※2 脳卒中：脳の血管が破れるか詰まるかして、脳に血液が届かなくなり、脳の神経細胞が障害される病気

※3 虚血性心疾患：心臓の周りを通っている冠状動脈が何らかの原因で狭くなり、血流が悪くなって、心筋に十分な酸素が供給できなくなるために発作を起こす病気



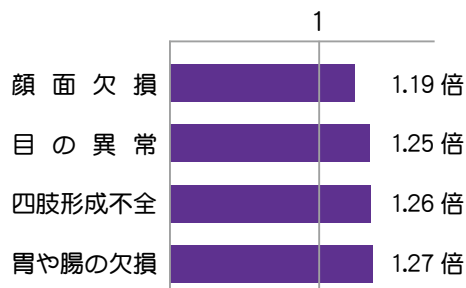
▶ **たばこを吸うと、産まれてくる子供にも影響があります。**

男性 喫煙によって血液の流れが悪くなり、生殖機能や、精子に異常が出ることもあります。

女性 胎盤の血流障害から、不妊や流産の原因となる可能性が高まります。無事に妊娠・出産をしたとしても、低出生体重児が産まれたり、SIDS(乳幼児突然死症候群)(※)を起こす可能性が高くなります。

妊婦の喫煙による胎児への影響

喫煙しない妊婦を1とする場合の発症率



その他、「心血管・心臓の欠損」など身体的に異常を伴うリスクが増加するといわれています。

Hackshaw 5 2011 年

※妊娠前に禁煙すれば大丈夫・・・？

たばこを吸うと、女性の卵巣内にある卵子は、発がん性物質などの影響を受けます。女性の体内にある卵子は生まれる前に作られ、その後新たに補充されることはありません。そのため、妊娠前だけでなく、普段からたばこを吸わないことが重要です。

※SIDS: 赤ちゃんが事故や窒息などのはっきりした理由もなく、突然亡くなってしまうこと。

▶ **なぜ若いうちからたばこを吸ってはいけないの？**

▶ 成長期である 10 代の体には、大人よりもたばこの煙の有害成分が影響しやすいのです。そのため、法律でも 20 歳未満の喫煙は禁じられています。

具体的な影響

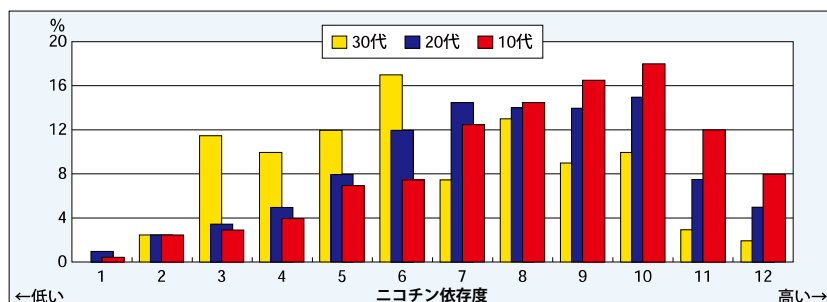
- 脳が成長している途中なので、ニコチンによる依存になりやすく、たばこを止めることが難しくなります。
- 若い時からたばこを吸い始めると、とても長い期間大量の有害成分を体内に取り込むことになります。
- たばこを吸い始めた時期が早い人ほど、肺がんになる確率が上がるということも分かっています。

※吸ったことのあるあなたへ

自分の体への悪影響がある上、多くの人に迷惑をかけるので、喫煙は止めましょう。

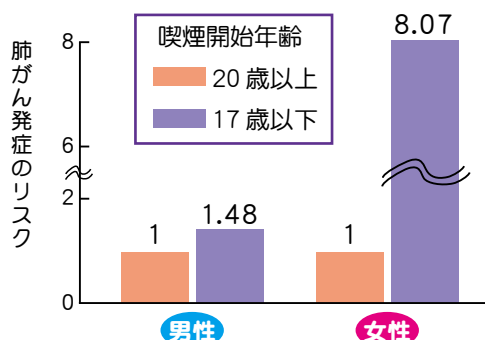
若いうちに吸いはじめるほど止めにくい！

10 代から吸っている人の方がニコチン依存度が高い



現在喫煙者のニコチン依存度(習慣的喫煙開始年齢別)
平成 10 年度 喫煙と健康問題に関する実態調査 厚生労働省

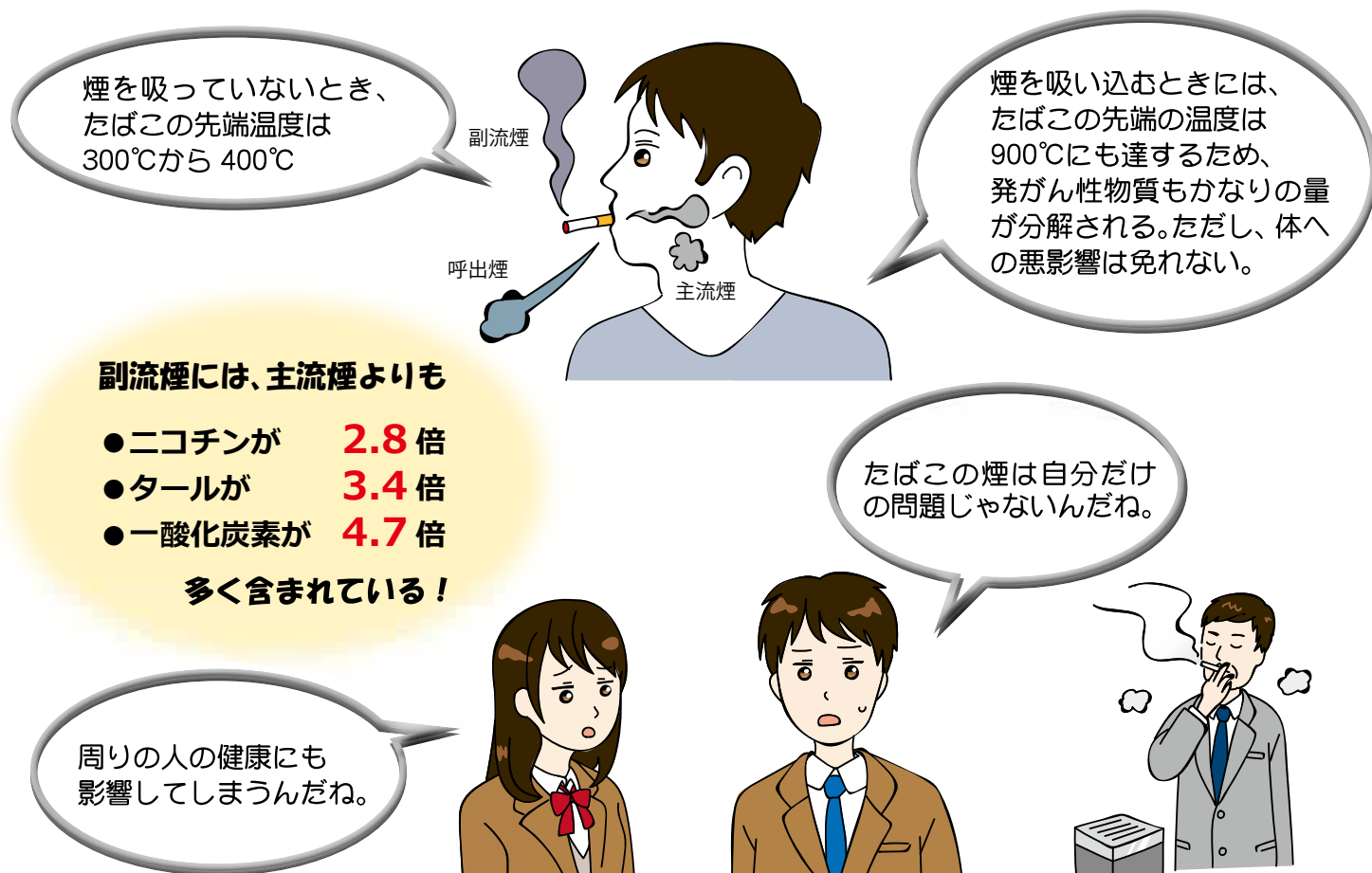
早い喫煙開始は、肺がんになる確率が上がります。



喫煙開始年齢と肺がん発症の関係(原めぐみら、2010 年)

▶ 他人が吸ったたばこの煙でも害があるって本当？

- ▶ たばこの煙には、本人が吸う「主流煙」、吐き出された「呼出煙」、火をつけたたばこの先端から立ちのぼる「副流煙」があります。副流煙や呼出煙を吸い込むことも体に悪い影響があります。これを「受動喫煙」といいます。
- ▶ 特に、副流煙には、主流煙以上にたくさんの有害物質が含まれます。
- ▶ 副流煙や呼出煙を吸うと、その人自身はたばこを吸っていないなくても、やはり肺がんや脳、血管の病気になる可能性が高くなります。



- ▶ 受動喫煙をなくすため、国と東京都は、本格的に受動喫煙を防止するための法令を作ったのです。
- ▶ 新しい法令では、飲食店など多くの利用者がいる施設では、原則として屋内禁煙になりました。喫煙を可能とする場合は喫煙室の設置が必要となり、違反した事業者には罰金が科せられることもあります。また、20 歳未満の人は、たとえ喫煙を目的としない場合でも、喫煙エリアへの立ち入りはできません。



飲食店の店頭には、左のような店内の喫煙状況についての表示がされています。標識で確認できるようになったので、うっかり入ってしまうこともなくなり、受動喫煙が避けられるようになります。

▶ 誘われても、たばこは断ろう

▶ たばこを吸ってもカッコよくありません。

友達や先輩から喫煙をすすめられても、断りましょう。吸わないという自分の意志で行動することが大事です。



誘い方の例

- 一度ぐらい吸っても大丈夫だよ。誰も見ていないし。
- 吸ってみて嫌ならやめればいいじゃん。
- みんな吸ってるよ。友達なら一緒に吸おうよ。
- ストレス解消になるよ。僕もスッキリしたよ。

断り方の例

- 喉が弱いからダメ。ぜんそくだからムリ。
- 集中力が低下するからイヤ。
- 今レギュラー目指してやってるから、体力なくなるのイヤなんだ。
- 歯がヤニで汚れるからイヤ。
- 肌が荒れる、美容に良くないからイヤ。
- いまどきたばこなんて吸うのダサい。
- 自分は吸わないと決めている。
- 他の人が吸っている近くでもケムいからムリ。



たばこの話が出そうになったらその場から離れる、たばこの話が出たら話題を変える、という方法もあるよ！

▶ たばこに関する Q & A

Q たばこを吸ってるとお金がかかるっていうけど？



A たばこは吸い続けるととても大きな金額になります。
例えば、一日一箱を吸ったとしたら、1か月約1万7千円、年間約20万円、60年で1,200万円以上のお金がかかることになります。



Q 煙の出ないたばこなら、体に影響はないの？



A 煙の出ないたばこには、加熱式たばこ、ガムたばこ、嗅ぎたばこなどがあります。
これらにも、多くの発がん性物質が含まれており、がんや循環器疾患の発生を増大させ、またニコチンを含むため、依存症を引き起こします。



Q 海外ではたばこはどう扱われているの？



A 公共の場所(医療施設、学校、行政機関、事務所、飲食店、バー、公共交通機関等)に屋内全面禁煙義務の法律があるのは67か国あります。
EUなどでは、たばこのTV広告が禁止されています。
また、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約では、タバコのパッケージに健康被害の警告表示をする場合、主要面の50%以上の面積とするよう勧告しています。



▶ 受動喫煙による健康影響を防止するためには・・・



望まない受動喫煙を防ぐためにはどうしたらよいでしょう。

今までに他人の煙を吸って嫌な思いをした場所などを思い出し、①今すぐ自分にできること、②自分が大人になって指導する立場だったら、やるべきだと思うことをそれぞれ考えてみましょう。

○ _____

○ _____

○ _____

○ _____

○ _____

○ _____

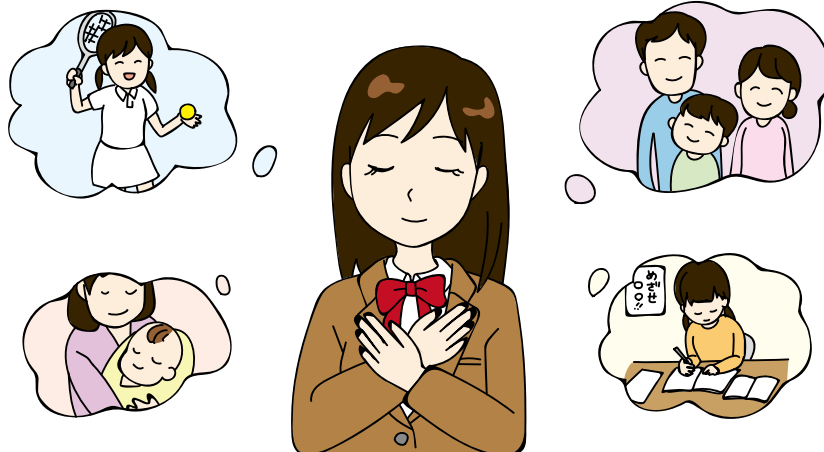
○ _____

○ _____



▶ 健康な未来と大切な人を守るために

- ▶ みなさんは、自分の未来にいろいろな夢を持っていることでしょう。夢を実現していくためには健康な体が必要です。そのためにもたばこの害から自分を守りましょう。
- ▶ たばこはニコチンの作用で止めにくいものです。だから、「ちょっとぐらい吸ってもいいかな」、「1本だけなら大丈夫」などといった軽い気持ちで吸いはじめると、その依存性により、止められなくなるのです。
- ▶ たばこは、自分だけでなく、周りの人の健康にも悪い影響があります。将来、親になったとき、家族の健康にも悪影響を与えます。たばこを吸っても誰も得をしません。
- ▶ 自分だけでなく、大切な人を守るため、今も、これからも、たばこを吸わないようにしましょう。



保護者の皆様へ

- ❖ 子供たちが喫煙を始める動機は、好奇心による興味本位が多く、親が喫煙していると子供の喫煙率も高くなります。喫煙は様々な疾患に罹患するリスクを高めるなど、健康に悪影響を及ぼします。
 - ❖ 喫煙者が吸っている煙だけではなく、たばこから立ち昇る煙や喫煙者が吐き出す煙にも、ニコチンやタールはもちろん、多くの有害物質が含まれています。本人が喫煙していなくても、身の回りのたばこの煙を吸わされてしまうことを受動喫煙と言います。
 - ❖ 特に子供は、乳幼児突然死症候群や、ぜんそく等との関連が科学的に明らかとなっています。子供たちは、自らの意思で受動喫煙を避けることが困難なため、たばこの煙から保護する必要があります。
- 「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」にも規定があります。詳細はこちら ⇒ 

- ❖ 喫煙される方は、受動喫煙の影響を十分に考慮し、周りに人がいる場所での喫煙はやめましょう。

父親が1日20本の喫煙者の女子の歯肉



13歳の女子の歯肉



15歳の女子の歯肉

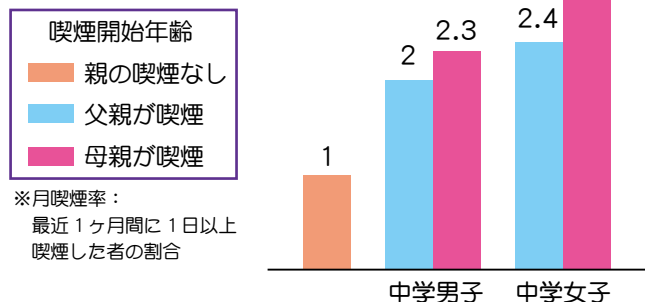
歯肉が黒ずんでしまっています。

喫煙は子供の歯肉にも影響を及ぼします！

写真提供：愛知学院大学 稲垣 幸司先生

親が喫煙すると子供も喫煙しやすくなります！

親の喫煙状況と子供の月喫煙率
(非喫煙者の親を持つ子供の月喫煙率を1とした場合)



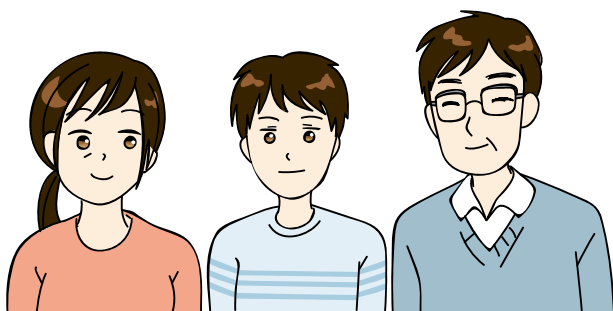
上畑鉄之丞 2001年(平成12年度厚生科学研究)

- ❖ 受動喫煙が健康に及ぼす悪影響を未然に防ぐため、国及び東京都は、「改正健康増進法」「東京都受動喫煙防止条例」を制定しました。これにより、飲食店など屋内は原則禁煙になり、喫煙できるお店は標識で分かるようになりました。この標識を参考に、家庭外においても受動喫煙を防止するよう心掛けてください。



飲食店の店頭には、左のような店内の喫煙状況標識が掲示されています。
子供を連れて外出する際には、これらの標識を参考にお店を選びましょう。
喫煙室には20歳未満の人は入れません。

- ❖ 子供たちの喫煙・受動喫煙を防止するためには、たばこの害についての正しい知識とたばこの煙がない環境が大切であり、保護者や周囲の協力が不可欠です。家庭でも、是非、たばこの害について話し合ってください。



登録番号(3)32号 令和3年11月発行

健康な未来を決めるのは誰？

～たばこの“恐ろしさ”を知りましょう～

編集・発行 東京都福祉保健局保健政策部健康推進課

電話 03-5320-4361

監修 中央内科クリニック院長 村松弘康先生

